



水質測定用試薬セット No.31 6価クロム

型式:LR-Cr⁶⁺

発色：無色→淡赤→赤→赤紫
測定原理：ジフェニルカルバジド法
試薬：R-1(パック)
測定条件(推奨)

測定波長：542.0nm

- 測定方法：1. 検水をセルに入れ、ゼロ合わせを行なう。
2. 検水25mL をビーカーに採り、R-1試薬を加え、すぐに15秒ほど、攪拌する。
3. R-1試薬投入5分後、吸光度を測定する。
4. 予め作成した検量線より、測定値を求める。

注意

- この方法では、検水中の6価クロムが測定されます。
- 3価を含めた全クロムを測定する場合は、「水質測定用試薬 No.40 全クロム(型式：LR-Cr^T)」をご使用ください。
- 本測定では、試薬の溶け残りが浮遊するため、低濃度を測定する場合は、ばらつきが大きくなる場合があります。必要に応じて、次のいずれかの対処を行なってください。
 - ◆ 試薬添加後は、ビーカーを15秒程うすまき攪拌し、静置する。3分後に静かにセルに移す。
 - ◆ 発色後に、No.5A のろ紙でろ過を行なってから測定する。
 - ◆ 試薬の浮遊による濁度分のキャンセルを行なう。(2波長定量法)

GHSマーク



危険



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666
<https://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

裏面もご覧ください。

使用前、使用後の取扱い注意

応急措置

試薬・測定液が **目に入ってしまったら** → すぐに15分以上、水で洗い流してください。
痛みや異常がなくても直後に必ず眼科医の診断を受けてください。

試薬・測定液が **皮膚や衣服にふれたら** → すぐに水で洗い流してください。

試薬・測定液が **口に入ってしまったら** → すぐに水で口の中を洗い流してください。

上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

特に、試薬・測定液を飲み込んだ場合には、水または牛乳を多量に飲み、すぐに医師の診断を受けてください。
試薬の有害性については外箱背面の「GHSに基づく表示」をご参照ください。

試薬に関するお知らせ

本試薬は、取扱い者への SDS の提供を義務づけた「PRTR 法」「労働安全衛生法」および「毒物及び劇物取締法」には該当しません。

測定液は約 pH2以下です。